

# 愛媛県内の声かけ・つきまとい等の発生状況(令和2年統計)

## 1 発生状況

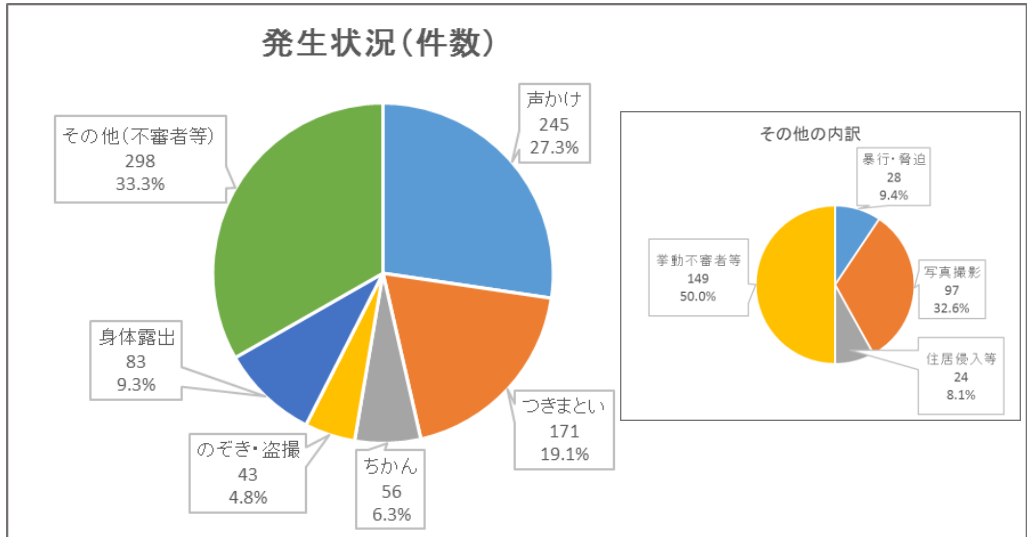
愛媛県警察が認知した声かけ・つきまとい等の発生は、896件(うち子供対象が556件)である。事案別にみると、「声かけ」、「つきまとい」に次いで「写真撮影(容姿等の撮影)」が多い。

- 「声かけ」が245件(27.3%)。
- 「つきまとい」が171件(19.1%)。
- 「写真撮影」が97件(10.8%)。
- 令和元年中と比べ、不審者情報の認知数が44件増加している。

※ 「子供」は、高校生までの男女をいう。  
 ※ 声かけ・つきまとい等とは、「声かけ、つきまとい、ちかん、のぞき・盗撮、身体露出、その他(不審者等)」をいう。  
 ※ 「その他(不審者等)」には、容姿の写真撮影、暴行・脅迫、住居侵入、挙動不審者等が含まれる。

事案別	合計
声かけ	245
つきまとい	171
ちかん	56
のぞき・盗撮	43
身体露出	83
その他(不審者等)	298
計	896

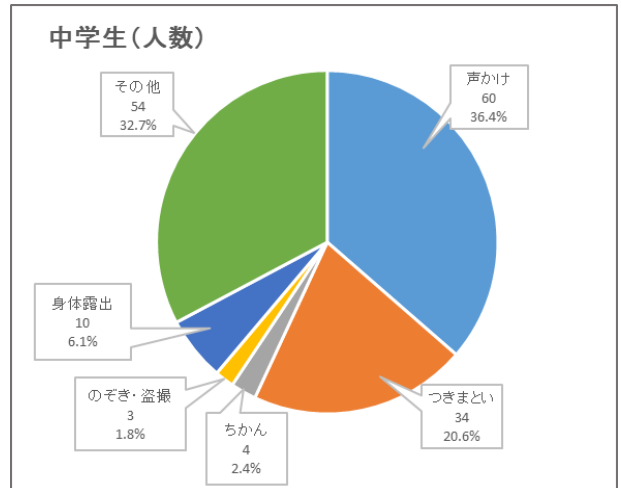
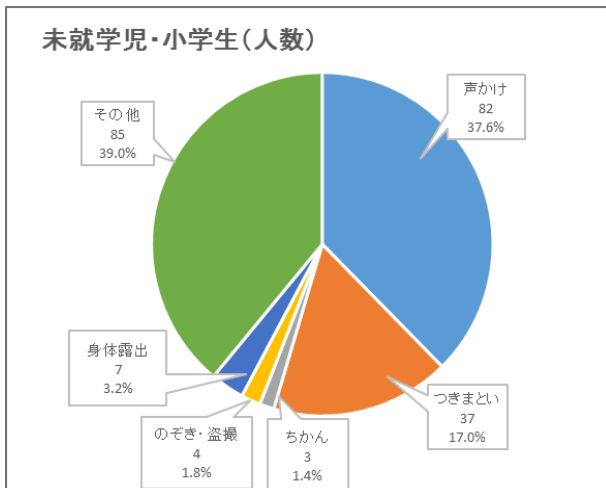
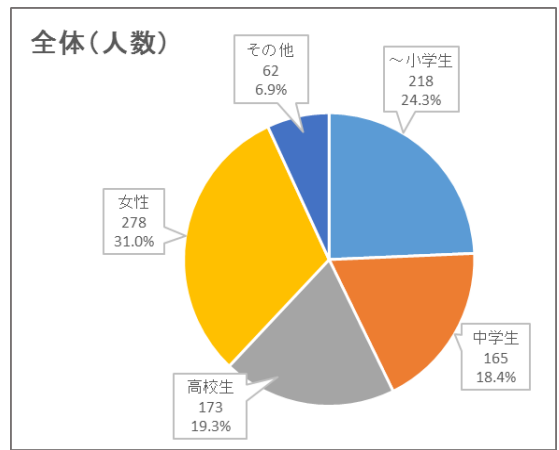
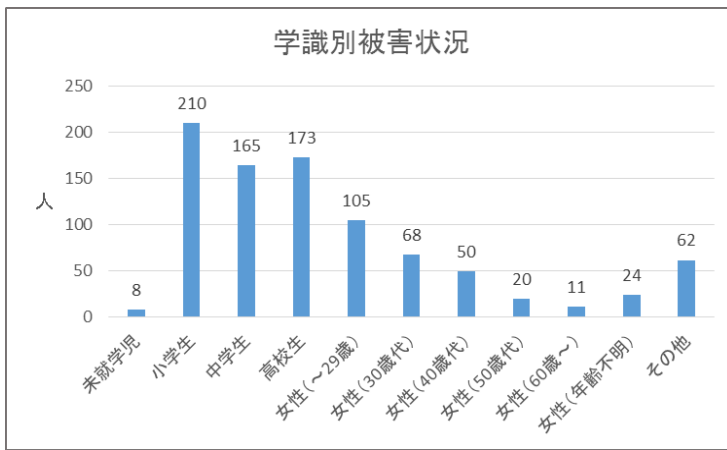
その他の内訳	合計
暴行・脅迫	28
写真撮影	97
住居侵入等	24
挙動不審者等	149
計	298

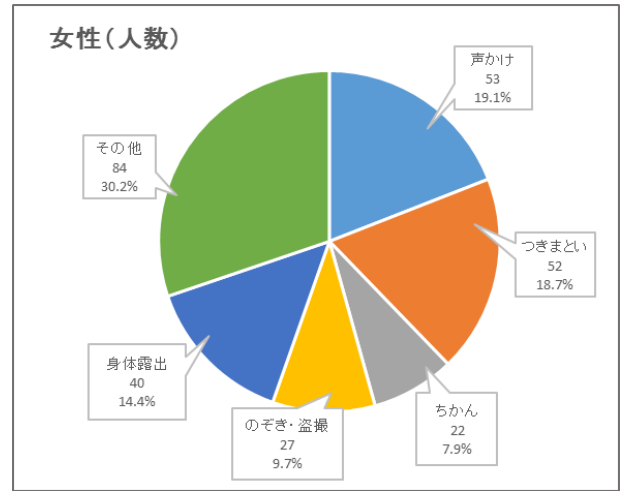
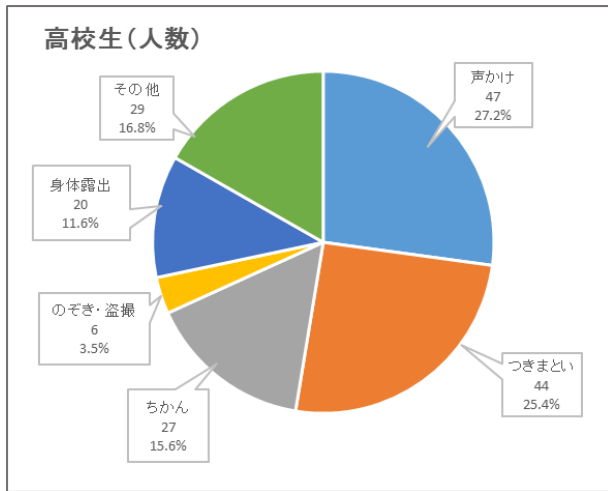


## 2 被害状況(学識別)

被害状況を学識別にみると、

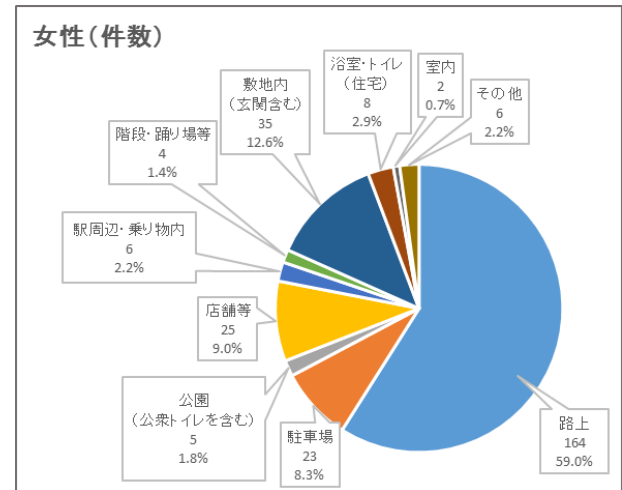
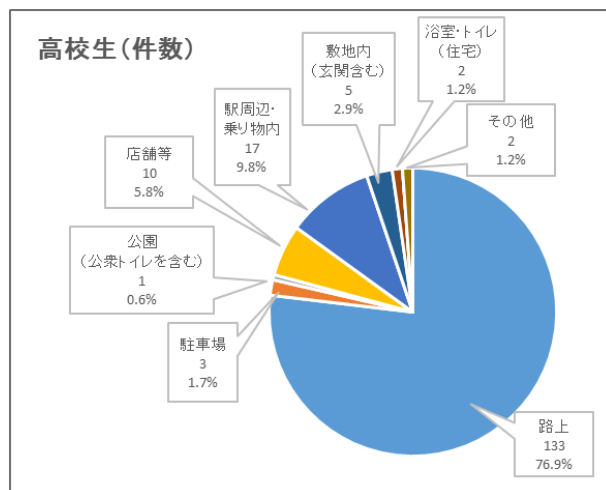
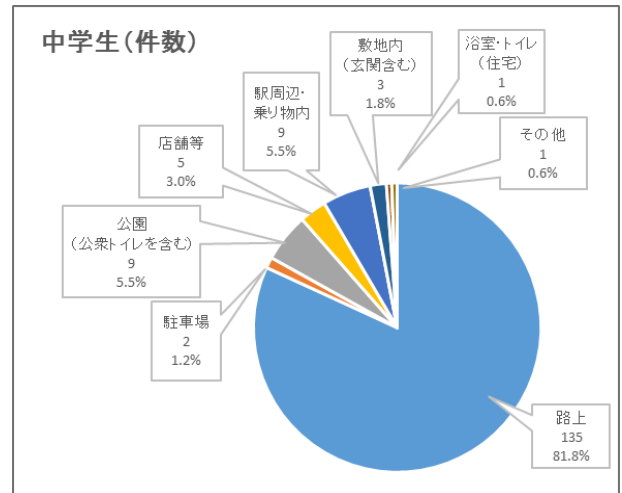
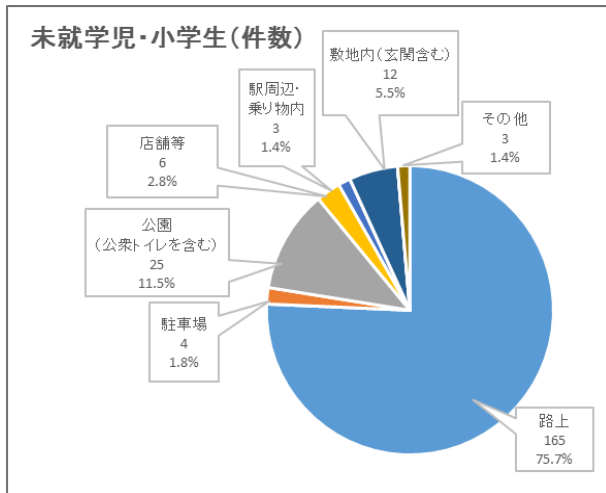
- 未就学児と小学生を合わせて218人(全体の24.3%)〜「声かけ」と「つきまとい」が半数以上を占めている。
- 中学生が165人(全体の18.4%)〜小学生等と同様に「声かけ」と「つきまとい」が半数以上を占めている。
- 高校生が173人(19.3%)〜小中学生と比較して「ちかん」や「身体露出」に遭う割合が増加している。
- 女性の認知は278人(31.0%)〜子供に比べて、「のぞき・盗撮」の割合が多い。





### 3 発生場所(学職別)

- 未就学児と小学生～「路上」での発生が165件(75.7%)と最も多く、次いで、「公園」が多い。
- 中学生～「路上」での発生が135件(81.8%)と最も多く、路上以外の場所は大きな差は認められない。
- 高校生～「路上」での発生が133件(76.9%)と高い割合を占め、中学生以下に比べて「駅周辺・乗物内」での発生が多い。
- 女性～「路上」での発生が過半数を占めるものの、店舗や自宅等での被害も目立っている。

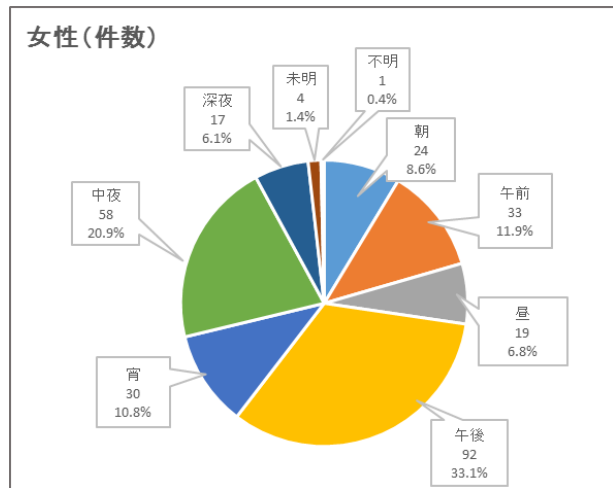
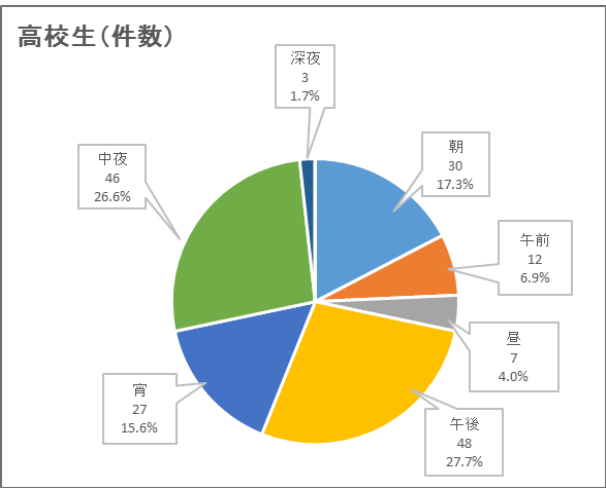
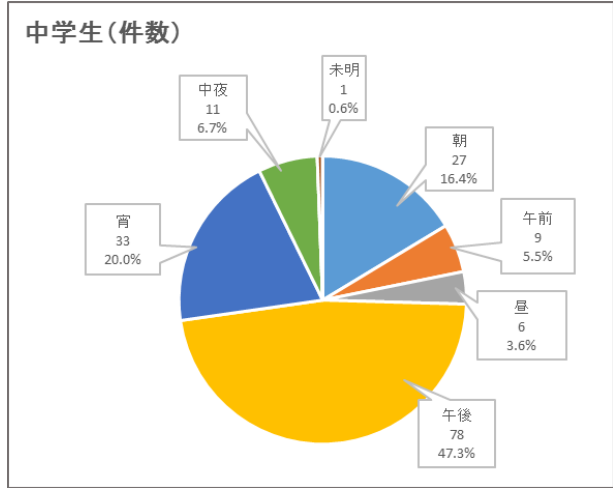
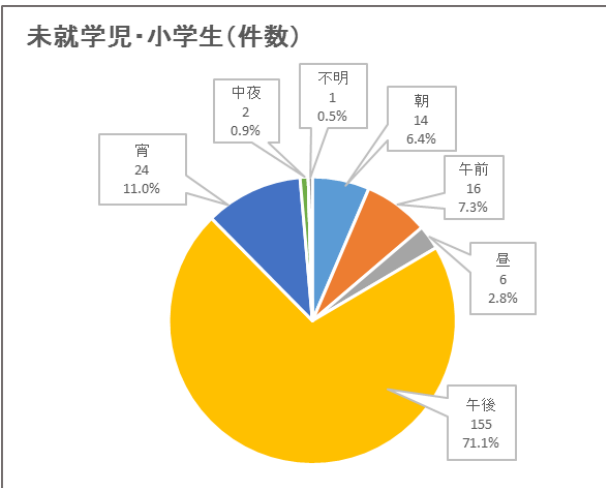


#### 4 発生時間帯(学職別)

発生時間は、被害者の活動時間に伴い、

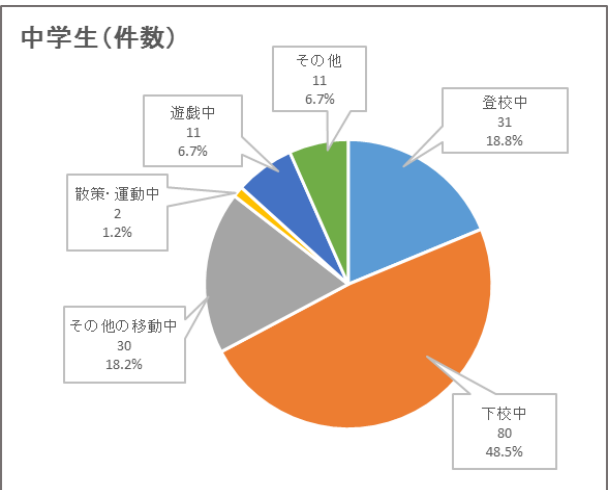
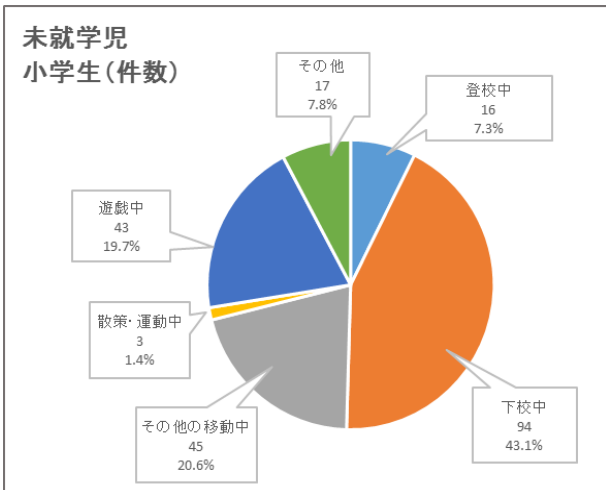
- 未就学児と小学生～「午後」に集中しており、午後から宵の時間帯が8割以上を占めている。
- 中学生～小学生同様、「午後」から「宵」までの時間帯が多いが、小学生と比べ日没前後の割合が増えている。
- 高校生～小学生と比べ、「中夜」の時間帯の発生が増加している。
- 女性～「午後」から「中夜」までの時間帯で約6割を占めているが、その他の時間帯についても多岐に発生している。

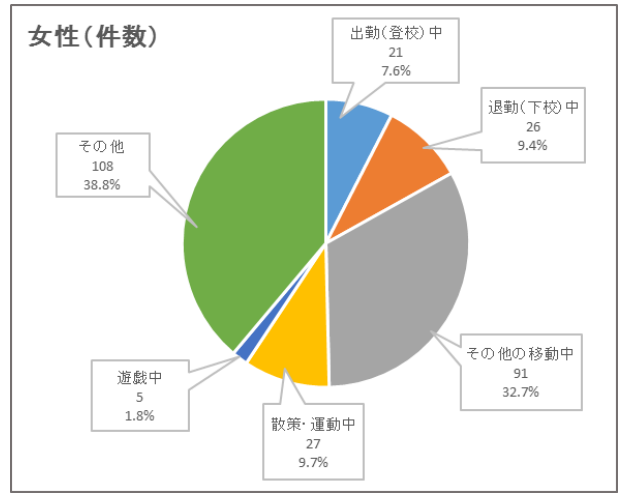
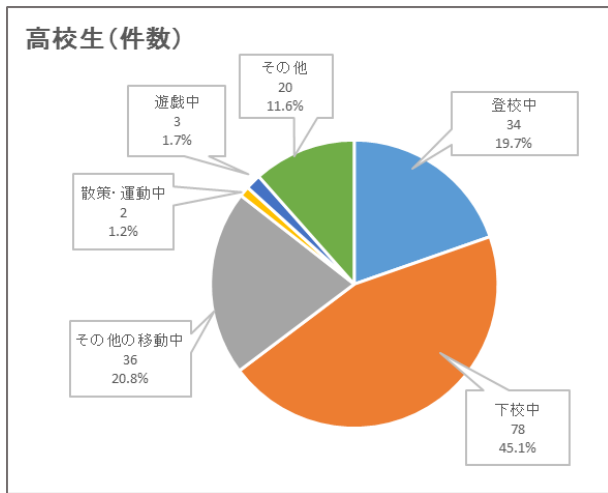
※時間帯区分:朝(日の出～9時)、午前(9～11時)、昼(11～13時)、午後(13時～日没1時間前)、宵(日没前後1時間)、中夜(日没1時間後～23時)、深夜(23～3時)、未明(3時～日の出)



#### 5 発生時の被害者の行動(学職別)

- 未就学児と小学生～「下校中」の被害が最も多いが、「その他の移動中」や「遊戯中」の被害も多い。
- 中学生～小学生と比べ「登校中」の被害が2倍以上の割合で発生している。
- 高校生～中学生と同様に「登校中」の被害の割合が小学生の2倍以上となっている。
- 女性～子供と比較して「出勤中」や「退勤中」の被害は少なく、「その他の移動中」の被害が多い。





【注意点】 構成比の数値は、小数点以下第2位で四捨五入しているため、個々の集計値の合計が100%にならない場合があります。

## 6 月別・子供女性別発生状況

- 例年であれば、春季から増加傾向にあるが、新型コロナウイルスによる一斉休校の影響で例年に比べ、3月～4月は発生が減少した。
- 例年、夏休み期間は子供の被害が減少する傾向にあるが、今年8月は例年と比べて被害が多く発生した。
- 女性の被害は例年と同様に春季から秋季にかけて被害が多く、冬季に向けて減少傾向にある。

